

第3章 高齢者の状況に関する将来推計

第1節 高齢者の人口推計

1 人口推計

平成17年度から平成22年度の住民基本台帳の総人口を基に、コーホート変化率法（サンプル年度間の各年齢階層別の人口変化率に基づく将来推計）によって、平成32年度までの総人口及び高齢者人口を推計したものです。

総人口は、少子化の影響により今後減少することが見込まれ、平成32年度には4,000人程度減少し、50,000人を下回ることが予想されます。

一方、第一次ベビーブーム世代の高齢化に伴って増加を続けてきた、65歳以上の高齢者人口は、平成30年度をピークに減少が見込まれますが、総人口がそれを上回る減少となることから、高齢化率は引き続き上昇していくことが見込まれます。

高齢化率は、平成25年度には30％を超え、平成29年度には33.7％（人口3人に対して高齢者1人の状態）となり、平成32年度には34.4％まで上昇することが見込まれます。

また、介護認定率の高い75歳以上の高齢者数は引き続き増加が見込まれることから、今後、介護認定者数の大幅な増加が見込まれます。

人口の推計

（単位：人）

区分／年度	24	25	26	27	28	29	30	31	32
総人口	53,819	53,433	53,025	52,584	52,118	51,618	51,096	50,548	49,988
40－64歳	17,563	17,252	16,894	16,566	16,353	16,090	15,919	15,836	15,690
65歳以上	15,822	16,274	16,731	17,071	17,263	17,412	17,438	17,316	17,199
（高齢化率）	29.4%	30.5%	31.6%	32.5%	33.1%	33.7%	34.1%	34.3%	34.4%
65－74歳	8,661	8,967	9,284	9,368	9,153	8,893	8,509	8,071	7,846
	16.1%	16.8%	17.5%	17.8%	17.6%	17.2%	16.7%	16.0%	15.7%
75歳以上	7,161	7,307	7,447	7,703	8,110	8,519	8,929	9,245	9,353
	13.3%	13.7%	14.0%	14.6%	15.6%	16.5%	17.5%	18.3%	18.7%

※ ％は総人口比

基準日：各年度10月1日

第2節 要介護（要支援）認定者の将来推計

1 要介護（要支援）認定者の将来推計

平成22年度と23年度の要介護（要支援）認定者の性別・年齢別の発生率を基に、平成32年度までの要介護（要支援）認定者の推計を行った結果、本計画の最終年度となる平成26年度には2,427人、平成32年度には2,831人に増加することが予測されます。

要介護度別では、中・重度認定率の高い75歳以上の高齢者が増加傾向にあるため、介護認定者に占める割合が上昇していくことが見込まれます。

要介護（要支援）認定者の将来推計

（単位：人／月）

区分／年度	24	25	26	27	28	29	30	31	32
要 支 援 1	293	300	307	316	325	334	342	347	353
要 支 援 2	262	269	275	283	290	300	307	312	317
要 介 護 1	503	517	530	545	562	578	594	605	618
要 介 護 2	373	385	394	407	419	431	443	451	460
要 介 護 3	314	323	330	340	352	362	372	380	389
要 介 護 4	271	280	286	294	304	312	319	325	333
要 介 護 5	283	293	305	315	326	335	345	352	361
計	2,299	2,367	2,427	2,500	2,578	2,652	2,722	2,772	2,831
認 定 率	14.5%	14.5%	14.5%	14.6%	14.9%	15.2%	15.6%	16.0%	16.5%

※ %は65歳以上人口比

基準日：各年度10月1日